

## 平成 26 年度 日医総研シンポジウム

- I. 日 時 : 平成 27 年 2 月 12 日(木) 13:00~16:00  
II. 場 所 : 日本医師会館 大講堂 (東京都文京区本駒込 2-28-16)  
III. 参加者 : 医師会員および公募の一般参加者 (500 名)  
IV. テーマ : 「日本における医療ビッグデータの現状と未来」  
V. プログラム

総合司会 : 石井 正三 (日本医師会常任理事)

1. 開 会 13:00

2. 主催挨拶 13:05~13:10

横倉 義武 (日本医師会会長)

3. 講 演

座 長 : 今村 定臣 (日本医師会常任理事)

(1) 13:10~13:45 山本 隆一 (東京大学大学院医学系研究科医療経営政策学講座特任  
准教授)

「医療情報大規模データベースとプライバシー保護」

座 長 : 澤 倫太郎 (日本医師会総合政策研究機構 研究部長)

(2) 13:45~14:20 石川 ベンジャミン光一 (国立がん研究センターがん対策情報センター  
がん統計研究部がん医療費調査室長)

「医療ビッグデータの研究利用：その現状と課題」

(3) 14:20~14:55 山本 雄士 (株式会社 ミナケア代表取締役)

「ビッグデータ時代の医療と臨床家のあり方」

< 休 憩 10 分 >

4. パネルディスカッション

15:05~16:00 「日本における医療ビッグデータの現状と未来」

パネリスト : 上記 3 名の講演者

座 長 : 石井 正三 (日本医師会常任理事)

石川 広己 (日本医師会常任理事)

5. 閉 会 16:00

松原 謙二 (日本医師会副会長)

日本医師会  
平成 26 年度 日医総研シンポジウム

資料目録

資料 1	講演 I 医療情報大規模データベースとプライバシー保護	山本 隆一
資料 2	講演 II 医療ビッグデータの研究利用：その現状と課題	石川 ベンジャミン光一
資料 3	講演 III ビッグデータ時代の医療と臨床家のあり方	山本 雄士
資料 4	WMA DECLARATION ON ETHICAL CONSIDERATIONS REGARDING DATABASES AND BIOBANKS (データベースおよびバイオバンクに関する倫理的考察に関する WMA 宣言案)	石井 正三
参 考	平成 25 年度日医総研シンポジウム記録集 福島原発災害後の国民の健康支援のあり方について	—